

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

市町名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
吉野ヶ里町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	コロナウイルスによる体験する機会の減少などによって、子どもたちの体験活動の機会、および他者との交流機会が減少している。	・コロナウイルスによって縮小していた、長期休みの体験教室の回数増に伴う参加延べ人数の増(令和4年度120人→135人) ・放課後児童クラブや児童館などの関連施設と連携した活動の展開	子どもたちのニーズをつかんだ、教室を開催することで、放課後の居場所を充実させる。	・放課後子ども教室に参加する子どもの延べ人数	120	人	135	135	3 令和4年度に比べ、体験教室の実施回数の増に伴い、参加延べ人数も増加した。昨年度から継続して参加をしている子どもに加え、今年度新たに参加した子どもたちが増えたことで、居場所の充実につながった。関連施設との連携に関しては、情報共有、参加よびかけや支援者に対する研修の提供にとどまった。関連施設に加え、外郭団体との連携も行うことで居場所の拡大によりつながると考えられるので、他施設・他機関との連携が現状の課題である。
吉野ヶ里町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	家庭学習の習慣化は、町全体で様々なアプローチから推進しているものの、共働きの家庭も増加する一方で、日々の宿題等指導する余裕がない家庭も多い。	年間を通して行う学習型放課後子ども教室(金曜学級)において、毎回必ず2名以上の支援員と、1名以上の職員を配置し、参加児童の学習活動を円滑にサポートできるよう努める。	自発的に宿題に取り組む児童が増え、家庭学習の習慣化が定着する。	町内小学校に通う児童の一日当たりの家庭学習時間における目標時間の達成度 ※町内小学校実施「家庭学習強化週間アンケート」	56	%	60	60	3 年間を通して、数回を除いて、2名以上の支援員と1名以上の職員の配置を行うことができ、学習活動のサポートに務めた。今年度の教室では学習活動に加えて、工作や運動といったレクリエーション活動の実施も行ったのだが、レクリエーション内容によって学習に向かう意欲の差が生まれていたもので、メリハリのついた学習習慣を身に着ける支援を行うことが課題である。